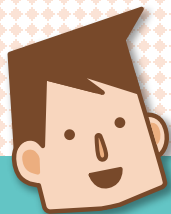


かいせつ よ
クイズの解説もしっかり読んでね

ばんごう 番号	せいかい 正解	クイズの解説
1-1	①	たいよう ひょうめんおんど やく 6,000 度。たいよう ちゅうしんぶ 1,600 万度と言われています。
1-2	③	たいようこうはつでん たいよう ひかり でんき に か 変えるため、てんこう ひ 天候や陽のあたる時間（じかん）に左右（さゆう）されます。
1-3	②	たいよう ひがし みなみ にし うご 太陽は、東（ひがし）から南（みなみ）、西（にし）に動くように見えます。たいよう じかん 太陽があたる時間は南側（みなみがわ）が一番（いちばん）多（おほ）くなります。
1-4	②	はる ひ 春（はる）は陽（ひ）のあたる時間（じかん）が長（なが）く、晴天（せいてん）も多（おほ）いため、一番（いちばん）発電（はつでん）できます。たいようこうはつでん 太陽光発電（たいようこうはつでん）パネルは高温（こうおん）に弱（よわ）く、発電（はつでん）量（りょう）も下（した）がってしまうため、夏（なつ）は春（はる）に比（ひ）べて発電（はつでん）量（りょう）が少（すく）ない。
1-5	③	たいよう ひかり でんりょく か 太陽（たいよう）の光（ひかり）を電力（でんりょく）に変（か）えています。がいきおん たか 外気温（がいきおん）が高（たか）すぎるとはつでんりょうていか 発電（はつでん）量（りょう）低下（げんいん）の原因（げんいん）になります。
2-1	③	ようじょうふうりよくはつでん 洋上風力発電（ようじょうふうりよくはつでん）といい、あんてい おお 安定（あんてい）した大（おお）きな風量（ふうりょう）がえられる発電（はつでん）方式（ほうしき）です。
2-2	①	かぜ つよ 風の強（つよ）さや方向（ほうこう）に大（おお）きく左（ひだり）右（みぎ）されますが、ふうしゃ まわ 風車（ふうしゃ）が回（まわ）れば夜（よる）でもはつでん 発電（はつでん）できます。
2-3	①	たか こ 高さ（たか）100m を超（こ）える風力発電所（ふうりよくはつでんしょ）はありま
2-4	①	かぜ つよ 風の強（つよ）さや方向（ほうこう）に大（おお）きく左（ひだり）右（みぎ）されますが、ふうしゃ まわ 風車（ふうしゃ）が回（まわ）れば雨（あめ）でもはつでん 発電（はつでん）できます。
2-5	②	い げんざい にほん 15 位（い げんざい）。現在（げんざい）、日本（にほん）では“洋上風力発電（ようじょうふうりよくはつでん）”に期待（きたい）が集（あつ）まっています。
3-1	①	せいぶつ バイオ（せいぶつ）は“生物（せいぶつ）”、バイオマス（どうしょくぶつゆらい）は“動植物（どうしょくぶつゆらい）由来（しげん）の資源（しげん）”のことをいいます。
3-2	①	バイオマス（どうしょくぶつゆらい）は、動植物（どうしょくぶつゆらい）由来（しげん）の資源（しげん）のことをいい、き たけ 木（き）や竹（たけ）などが当（あ）てはま
3-3	②	にほん しんりんたいこく にほん しんりんめんせき こくど 日本（にほん）は森林（しんりん）大（たい）国（こく）です。日本（にほん）の森林（しんりん）面（めん）積（せき）は、国（こく）土（ど）の 67% を占（し）めています（2024 年（ねん）時（じ）点（てん））。
3-4	②	むちつじょ しょう 無秩序（むちつじょ）な使用（しよう）は、かんきょうはかい 環境（かんきょう）破（は）壊（かい）につな（か）がる可（かの）能（のう）性（せい）が有（あ）ります。てきせりょう 適正（てきせりょう）量（りょう）の使（し）用（よう）が大（だい）切（せつ）です。
3-5	①	りょうほうほう ねんりょう どうじょうかいりょうざい ひりょう バイオマス（りょうほうほう）の利（り）用（よう）方（ほう）法（ぽう）は、燃（ねん）料（りょう）や土（ど）壌（じょう）改（かい）良（りょう）剤（ざい）、肥（ひ）料（りょう）な（な）があげられま
4-1	②	すいりよくはつでん みず りょう たか 水（すい）力（りょく）発（はつ）電（でん）は、“水（みず）の量（りょう）”と、高（たか）い所（ところ）から低（ひく）い所（ところ）に落（お）ちる“落（らく）差（さ）”（おお）の大き（おほ）さではつでんりょう 発電（はつでん）量（りょう）が決（き）まりま
4-2	②	たいようこうはつでん ふうりよくはつでん ひかく はつでんりょう あんてい 太陽（たいよう）光（こう）発（はつ）電（でん）や風（ふう）力（りょく）発（はつ）電（でん）など（な）と比（ひ）較（かく）して、発（はつ）電（でん）量（りょう）が安（あん）定（てい）していま
4-3	②	らくさ かくほ 落差（らくさ）を確（かく）保（ほ）するた（た）め、ひかくてき 山（さん）間（かん）部（ぶ）の方（かた）が有（あ）利（り）。としぶ 都市（としぶ）部（ぶ）の場（ば）合（あ）い、さうおんもんだい 騒（さう）音（おん）問（もん）題（だい）に（ちゅう）意（い）。
4-4	①	すいりよくはつでん みず りょう おお 水（すい）力（りょく）発（はつ）電（でん）は、水（みず）の量（りょう）に大（おお）きく左（ひだり）右（みぎ）されま
4-5	③	ふべしりよくはつでんしよ し はくたしりよくはつでんしよ し いいなしがわだいいちはつでんしよ けんきぎょうきよく 布（ふ）部（ぶ）小（せう）水（すい）力（りょく）発（はつ）電（でん）所（しよ）（市（し））、伯（はく）太（た）小（せう）水（すい）力（りょく）発（はつ）電（でん）所（しよ）（市（し））、飯（い）梨（な）川（がわ）第（だい）一（いつ）発（はつ）電（でん）所（しよ）（県（けん）企（き）業（ぎやう）局（きよく））、 いいなしがわだいいちはつでんしよ けんきぎょうきよく 飯（い）梨（な）川（がわ）第（だい）二（に）発（はつ）電（でん）所（しよ）（県（けん）企（き）業（ぎやう）局（きよく））、飯（い）梨（な）川（がわ）第（だい）三（さん）発（はつ）電（でん）所（しよ）（県（けん）企（き）業（ぎやう）局（きよく））、山（やま）佐（さ）発（はつ）電（でん）所（しよ）（県（けん）企（き）業（ぎやう）局（きよく））
5-1	①	おつ しよう 地（ち）表（ひょう）か（か）ら深（ふか）さ数（すう）km のマ（ま）グ（ぐ）マ（ま）だ（だ）ま（ま）り（り）の熱（ねつ）（650～1300 度（ど））を（を）利（り）用（よう）しま
5-2	①	にほん せかいゆうすう かざんこく い 日本（にほん）は世（せ）界（かい）有（ゆう）数（すう）の火（か）山（ざん）国（こく）。1 位（い）：ア（あ）メ（め）リ（り）カ（か）、2 位（い）：イ（い）ン（ん）ド（ど）ネ（ネ）シ（シ）ア（ア）。
5-3	②	にほん やく 日本（にほん）には約（やく）100 ありま
5-4	①	ちねつはつでん てきせい りょう な しんばい 地（ち）熱（ねつ）発（はつ）電（でん）は、適（てき）正（せい）に利（り）用（よう）すべ（べ）ば、無（な）く（く）な（な）る心（しん）配（ぱい）はあ（あ）りま（ま）せ（せ）ん。
5-5	③	ちか 地下（ちか）1,000～3,000m のマ（ま）グ（ぐ）マ（ま）だ（だ）ま（ま）り（り）の熱（ねつ）を（を）利（り）用（よう）しま



かいせつ よ
クイズの解説もしっかり読んでね

ばんごう 番号	せいかい 正解	かいせつ 解説
6-1	③	おんすい おんふうをつくり、シャワーのお湯などに活用します。発電できるほど高温ではありません。太陽熱は、陽の当たる場所なら、日本のどこでも利用できます。
6-2	①	きゅうとう (シャワーなど) や冷暖房に利用する場合があります。
6-3	①	ひあ わる たいようねつ とど りよう てんこう にっしょうじかん さゆう 日当たりが悪いと太陽熱が届かず利用しにくい。天候や日照時間にも左右されます。
7-1	①	せっぽうねつ ふゆ ふ ゆき つめ がいき こお こおり なつ れいぼう れいぞう りよう 雪氷熱は、冬に降った雪や冷たい外気で凍らせた氷を、夏の冷房・冷蔵に利用できます。
7-2	①	せっぽう ひ くうき てきど すいぶん ふく のうさくもつ ほぞん てき 雪氷で冷やした空気は適度に水分を含んでおり、農作物の保存に適しています。
7-3	②	ひろしまけんしょうばらし みち えき せいび とっとりけん 広島県庄原市「道の駅たかの」に整備されています。鳥取県にもあります。
8-1	①	おんどさねつりよう くうきちゆう おんど かせんすい おんど き ねつげん りよう 温度差熱利用は、空気中の温度と、河川水などの温度の差を熱源として利用するものです。
8-2	③	おんどさねつ のうぎょう いえ れいだんぼう りよう ねつげん ちか ほう こうりつてき 温度差熱は、“農業ハウス”や“家の冷暖房”に利用できます。熱源は近い方が効率的。
8-3	②	かせんすい おんど たいき なつ つめ ふゆ あたた おんどさ りよう 河川水などの温度は、大気よりも夏は冷たく、冬は暖かい。この温度差を利用します。
9-1	①	この温度差を利用すれば、夏は冷たく、冬は温かい熱を利用することができます。
9-2	②	ちちゅうふか ていど おんど ていど ねんかん とお あんてい ちゅうごくちほう 地中深さ10m程度の温度は、15～20℃程度で年間を通して安定しています（中国地方）。
9-3	①	ちちゅうおんど ていど なつ つめ ふゆ あたた ねつ りよう 地中温度は15～20℃程度。夏は冷たく、冬は温かい熱が利用できます。
0-1	①	にほん はつでんりよう わりあい かりょくはつでん すいりょくはつでん 日本のエネルギー発電量の割合 ⇒ 火力発電：68.6%、水力発電：7.6%、 太陽光発電：9.8%、原子力発電：8.5%（2023年度時点）。
0-2	②	ちきゅうおんだんか げんいん おんしつこうか しゅせいぶん にさんかたんそ 地球温暖化の原因となるのは温室効果ガス。その主成分が二酸化炭素です。
0-3	③	じきゅうりつ やく すいりょくはつでん せいび ノルウェーの自給率は約760%（水力発電がたくさん整備されています）。 日本は約13%（2022年度時点）。
0-4	①	にほん じきゅうりつ やく おお がいこく しげん いぞん 日本のエネルギー自給率は約13%。多くを外国の資源に依存しています。
0-5	②	ふうりょくはつでん すいりょくはつでん くも あめ やかん さゆう はつでん 風力発電や水力発電は、曇りや雨、夜間に左右されず発電できます。
0-6	③	も にさんかたんそ はつせい かせきねんりよう こかつ しげん 燃やすと二酸化炭素が発生します。また、化石燃料は枯渇する資源です。
0-7	③	おんど ひく たか てきど せってい でんきだい さくげん エアコンの温度を低すぎず、高すぎず適度に設定すると電気代の削減になります。 冷蔵庫の省エネ対策は、冷蔵庫の中にモノを詰めすぎないなどがあげられます。
0-8	①	おんしつこうか じっしつ そだい だいじ 温室効果ガスを実質ゼロにする。粗大ゴミやフードロスをゼロにすることも大事。
0-9	③	へ しやうめい せっち エアコンのむだづかいを減らす、LED照明を設置するなどがあげられます。
0-10	②	だつたんそしゃかい ちいき とりく ちいきだつたんそ “脱炭素社会”といいます。また地域で取組むものを「地域脱炭素」といいます。